



令和6年度東京地本出陣式



自衛隊東京地方協力本部（本部長 横田陸将補）は4月11日、年度の開始にあたり、任務完遂の気構え及び一体感を醸成するとともに、各種目標達成と東京地本の飛躍を期することを目的として、「出陣式」を実施した。

当日は天候に恵まれ、本部長以下所属隊員、東京地本各協力団体会長等が参加し、和やかな雰囲気のもと行事が行われた。

初めの「達磨の目入れ」では、令和5年度、東京地本を見守ってくれた大きな達磨に、1年間の感謝を込めて本部長が目入れを行った。続いて、「部運隆盛」「熱意と創意」の祈願文字が書き入れられた新年度の達磨に、本部長、副本部長、地区隊長等、また、東京地本各協力団体会長等が目入れを行い、無事開眼した。行事の最後は、総務課所属の城戸2曹による関の声で締めくくられ、新年度に向けて士気を高めることができた。

東京地本はいつの時代においても、時代の要請に相應する防衛省・自衛隊のため、そして我々を信頼してくれている人たちのため、様々な変化に適応しながら各種業務を遂行していく。

春の全国交通安全運動における広報活動に参加



自衛隊東京地方協力本部港出張所（所長 濱田3陸佐）は、令和6年4月13日、秋葉原駅電気街口ダイビル前広場で実施された「はたらくのりもの大集合！アキバで体験！交通安全！」へ参加し、自衛官の募集広報活動を実施した。

本イベントは、警視庁万世橋警察署が主催であり、「令和6年春の全国交通安全運動」を広報し、一日署長としてタレントの柳沢慎吾さんをお迎えして、トークショーと体験型のイベントを開催するとともに、各種交通事故防止を呼び掛けることを目的に実施された。

当日は、2千人を超える方が来場し、体験コーナーには警視庁、消防庁、ヤマト運輸及び防衛省・自衛隊の4機関がそれぞれブースを設置した。

港出張所が設置した広報ブースでは、自衛隊の概要説明をはじめ、制服の試着、落下傘の装着及びVR体験を実施した。その他、高機動車及び偵察用オートバイの展示をするともに、各機関の関係者との意見交換等も実施した。

小さなお子様を連れている来場者も多く、VR体験や制服試着後に落下傘を装着して写真撮影を行う等、終始笑顔が溢れていた。

来場者から「自衛隊の概要に関して理解ができた」、「VRで実際に空挺降下を疑似体験できて良い思い出となった」などの感想が聞かれた。

港出張所は、引き続きあらゆるイベント等に積極的に参加し、自衛隊の魅力を発信するとともに、防衛省・自衛隊の理解促進を図り、人材の確保に取り組んでいくとしている。

「働く車の展示会」へ参加



自衛隊東京地方協力本部足立地域事務所（所長 辻本2陸尉）は令和6年4月14日、足立区にある北千住駅東口ロータリーにおいて開催された警察、自衛隊、消防の合同展示イベントである「働く車の展示会」に第1普通科連隊と連携して参加した。

本展示会は、警視庁千住警察署が令和6年春の全国交通安全運動に伴い交通安全の啓発活動のため企画したものであり、併せて警察・自衛隊・消防の採用案内を実施した。

当日は、警視庁・自衛隊・東京消防庁の車両展示に加え、警視庁騎馬隊の展示などが行われた中、足立地域事務所が設置した広報ブースでは、軽装甲機動車の展示、自衛官募集の周知を目的としたティッシュやグッズの配布を行った。北千住駅前に設置されている大型ビジョンの事前広告のおかげで多くの来場者があり、家族会や募集相談員の協力も受けながら円滑に自衛隊の広報活動を実施した。

募集活動の成果として10名を超える公務員志望者が広報ブースを訪れ、現役で勤務している警察・自衛隊・消防の方々と交流することができて就職活動の参事になったとの声が聞かれた。

足立地域事務所は、今後も地域に根ざした活動を行うとともに、他機関と連携した広報活動を実施して防衛省・自衛隊に対する理解を深め、自衛官志願者の増大を図っていくとしている。